

孝道

Newsletter

第1号 2024年春号

理事長挨拶



明けましておめでとうございます



会員の皆様には、旧年中は大変お世話になりました。皆様のご支援により、こうして記念すべきニュースレター第1号を発行する運びとなりました。

今後、全国における孝道振興の草の根運動をリアルタイムにお届けして参ります。

年明け早々、能登半島地震や航空機事故が発生して厳しい年明けとなりましたが、当財団は今年も皆様のご支援のもと、下記の通り活動を進めてまいります。

昨年は、年初に、おそらく日本初となる孝道作文選集を発行したほか、3回目となる孝道文化大会も盛大に開催し、大変ご好評を頂

きました。

今年は、孝道作文選集第二集の発行に向けて準備しているほか、孝道文化大会・孝道文化講演会・孝道オンライン交流会・孝道ボランティアの開催、孝道奨学金の支給等、孝道振興に関わる各行事を実施し、孝道振興の草の根運動をより一層展開してまいります。

2024年令和6年は「甲辰」、青龍の年ともいわれます。本財団におきましても龍が昇るごとく発展できるよう邁進してまいります。会員の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い致します。

一般財団法人 孝道文化財団 理事長 李貴史

孝道実践 ボランティア

千葉県南房総市に行く！

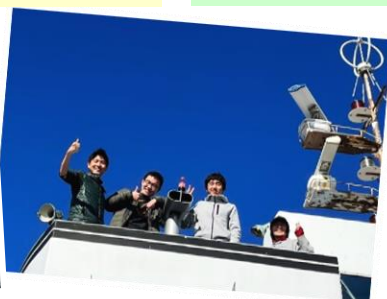
2023年12月2日、総勢8名で千葉県南房総市にボランティア活動に行ってきました。当市は、2019年の「令和元年房総半島台風」により大打撃を受けました。台風直後ボランティア活動が開始されましたが、新型コロナウイルスにより約2年間自粛。今は、復興のためのボランティアが中心になり、私達は、元の農作地を荒地にしないための草刈をしました。皆さんに喜んでいただき心は満たされ、その後、道の駅で大きなアジフライを食べ、体も満足し帰りました。(報告：前崎)

前回は作業することに必死な感じでしたが、今回は、草刈りをしながら「来年も一面に花が咲いてみんな笑顔になってほしいな」と思うと、すぐワクワクしました。(大学生)

この地を好きになろうと楽しく活動することを意識して、実際に好きになれたので本当に良かった。純粹に誰かのために頑張れて、とても嬉しい時間でした。(大学生)



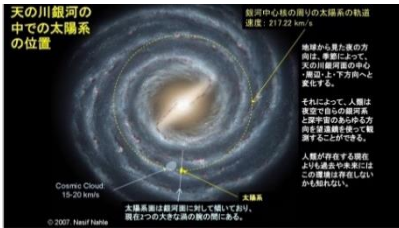
↑ご希望の方は、
右のQRコードから
お問合せください。





廣井孝弘先生

(隕石と小惑星の分光学の専門家)



12月16日午後8時、米国ブラウン大学上席研究科学者、隕石と小惑星の分光学の

専門家の廣井孝弘先生をお招きしました。

小惑星探査機「はやぶさ」の研究者である先生から、「はやぶさ」が小惑星の表面物質を地球に持ち帰ることに奇跡的に成功し、このミッションが宇宙創造の謎を解く歴史的な一歩になったという感動的なお話を聞きました。

また、大学院卒業当時、先生の専門分野では日本で就職がない中で、NASAで評価され、アメリカで道を開いていかれたそうです。どんな逆境の中でも夢を持ち続ける大切さを学び

ました。講話後の質疑応答の時間では、小学生から高校生まで多くの奨学生から質問が出て、とても活発な交流の場になりました。

(報告：大野R)

は やぶさが、動かなくなっても、あきらめなかった人達は、すごいと思いました。私も、その人達のように、何事も諦めない様に頑張りたいと思います。(小学生Bくん)

は やぶさの話が感動的でした。普段恥ずかしくて質問しない息子も「はやぶさ本体がなぜ地球に帰れないのか？」が不思議で質問してしていました。あっという間の時間でした。(小学生の親Aさん)

孝道オンライン交流会とは



当財団主催「孝道作文コンクール」の優秀賞受賞者(孝道奨学生、孝道大使)を対象に定期的に開催しています。毎回、講師をお招きし、「親孝行」「夢」をテーマにした講話、或いは講師の専門分野の講話をしていただき、その後感想や近況の共有の時間を持っています。

中国 孝子伝

第一回 「舜 (しゅん)」



このシリーズでは、中国史上の代表的な孝子を紹介していきます。

『二十四孝』『孝子伝』など、多くの孝子紹介書の巻頭を飾るのは、中国第二の王・舜です。舜は幼くして生母と死別しました。その後、父は再婚し、後妻との間に弟が誕生すると、舜を疎んじ、虐待するようになりました。屋根を修理中、建物ごと焼き殺されそうになり、また井戸に生き埋めにされるなど、考えられない仕打ちを受けました。

孝徳を積み上げた結果、王にまでなったという舜のごと焼き殺されそうになり、物語は、中国の人々にとって、孝の実践がいかに大切なるなど、考えられない仕打ちを受けています。(仁龍)

しかし舜は、父を変わず愛し、孝行を尽くしました。そのため孝子の評判が、最初の王・堯(ぎょう)にまで届き、堯が舜を役人に登用したところ、民の信頼を得て、どんな役職も上手くこなしました。堯は舜を信頼して、娘を嫁がせ、息子

親孝行について



ハートフルコーラスの親子に 聞いてみた！ 座談会

ハートフルコーラスは結成2年半。国籍、年齢が様々なメンバーで主にzoomで練習や交流をしています。2022年、23年の孝道文化国際大会で演舞しました。今回、結成当初から親子で活動しているメンバーを中心に「親孝行について」聞きました。

なぜハートフルに入ったの？

- ・ダンス教室に通っているが、大舞台上で踊るのが面白そう、勉強になると思った。
- ・音楽が好きだし、親子で一緒なら出かける機会も増えていいなと思った。
- ・年長さんの時、母に言われたので。
- ・お姉ちゃんや、みんなが楽しそうだし、誉めてもらえるのがいいなと思った。
- ・子供のサポートのつもりで始めた。

お母さん(子供)と一緒に踊るって どんな気持ち？

- ・普段は友達と踊るから、不思議な感じ。
- ・一緒に出演できるのが嬉しかった。
- ・安心してできる。
- ・褒めてくれたり、大丈夫だよと言ってもらって嬉しい気持ちになる。
- ・娘が心身ともに支えてくれるから出演できる。
- ・親子共演が夢だったのですごく幸せ。
- ・子供との共演だからでる自然な表情がある。ほっこりすると言われるのはそのため？

親孝行のイメージ？

- ・親のわがままを聞くこと。
- ・親だけでなく、みんなを笑顔にすること。
- ・親に尽くし、親が喜ぶことをやること。
- ・親に感謝し、兄弟が仲良く協力し合うこと。
- ・孫の頑張っている姿を見せること。
- ・家族で帰省すること。
- ・誕生日などにプレゼントを贈ること。
- ・幸せな姿を見せ、心配をかけないこと。
- ・親の願いを知って、自分が持てる力の限り努力して実現すること。

ハートフルで表現する親孝行とは？

- ・親子で一緒にやっているということ。
- ・施設などのボランティアで演舞すること。
- ・作品完成に向けて家庭で親子で取り組む姿。
- ・親の願い（ハートフルの活動するための準備等）にも応えてくれる子供たち。
- ・親孝行を表現するという目標をもってみんなで取り組んでいること。
- ・子供たち中心より、家族でできるようになったらもっと表現できるかな～。

▲2024/1/6
新春の集い



▲▶2023/10/21 孝道文化国際大会



ブログはこちら♡
一緒にやりませんか？
メンバー募集中！

♡「親孝行について」の掲載依頼を受け、座談会をするとメンバーの率直な思いを聞くことができ、とてもいい時間となりました。ブログに裏話投稿してます～(らぶ)

★次号では、孝道文化財団支部の活動の紹介をいたします。

第4回 孝道作文コンクール 作文募集

テーマ「親への感謝の手紙」「親孝行」に関すること

応募随時

部門

①小学生の部 ②中高生の部
③大学生及び一般の部
(各部門ごとに、日本語・中国語)

規定

①400字程度 ②③800字程度

※応募作品には、題名・学校名・学年(作文制作時)
氏名を明記してください
※一般の部は、学校名学年に代えて職業をご記入下さい
(例)主婦など
※電子データによる応募も可能です

審査

本財団の作文審査委員会による
厳正な審査を実施

応募方法

メール kodobunka@gmail.com

郵送 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂
2-15-1ノア道玄坂215号室
一般財団法人 孝道文化財団 宛

発表・表彰

今年秋に開催予定の「孝道文化
大会」にて入賞者を発表

※優秀な作品には、賞状、副賞と奨学金を授与します
※表彰式にて、一部入賞者の作品紹介と朗読があります

その他

①応募作品は未発表のものに限ります
②応募作品の著作権は主催者に帰属します
③表彰作品は厳選の上、後日、主催者発行の『孝道作文選
集』に掲載し、出版する予定です
④作品中の個人情報・プライバシーに関して、主催者は一切
の責任を負いません
⑤表彰作品を選集に掲載する際、表記統一など主催者の判断
で修正させていただくほか、氏名と学年を掲載します。

主催

一般財団法人 孝道文化財団

問合せ



←こちらの
QRコードから。



2月20日発売予定！

Amazon、書店(予約注文) 当法人HPにて購入できます！

昨年出版した孝道作文選集が好評につき、2023年度の孝道
作文コンクールの表彰作品を厳選して、第二集を出版します。
子供たちの親へ感謝、孝の心がたくさん詰まっています。

孝道作文選集第二集

価格:1,000円+税

サイズ:四六判(128mm×188mm)128ページ

企画:「孝道」作文選集制作委員会
編者:一般財団法人 孝道文化財団
発行所:株式会社 創藝社



↑お問合せは
こちらのQR
コードから。

孝道 Newsletter 発刊にあたり

日本が世界最先端の実績を上げている小惑星や隕石の試料分析を含む惑星科学において、地球がいかに奇跡的にできたところであるかや、人類の出現も科学の発展も、誰かの意思が働いて導いてくれたと考えられるような知見が得られてきました。はやぶさの奇跡的成功も、

廣井孝弘先生より

私の道のりも、創造主が人類にその創造の御業を見出してほしいという願いの一環ではないかと思います。

何事においても、投入していけば好きになれるし実績が出て、いつか自分に対する天の御心が分かるのではないかと思います。

メッセージ
頂きました



発行元：一般財団法人 孝道文化財団

発行日：2024年2月1日

〒150-0043 渋谷区道玄坂2-15-1ノア道玄坂215

TEL: 03-6455-0068

E-mail: kodobunka@gmail.com



↑Webサイト